

日本鐵鋼協會記事

◎評議員會

大正七年三月十二日午後五時より本會假事務所に於て評議員會を開催し定款改正案に付審議の上來る定時總會に付する事に決議の午後八時散會せり。

定款改正案

第十四條 但書ニ「連續」ノ二字插入

第二十八條二十九條三十條ヲ新ニ設ケ前二十八條以下順次繰下ケ舊第四十一條第四十二條ヲ削ル

第二十八條 評議員會ハ理事會ノ決議若クハ會長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ評議員五名以上ノ請求ニ依リ之ヲ開ク

第二十九條 評議員會ハ理事及評議員ヲ以テ組織ス前會長ハ評議員會ニ出席シ議決權ヲ行フコトヲ得ルモノトス

第三十條 評議員會ハ十名以上ノ出席ヲ以テ成立ス但シ出席シ能ハサルモノハ他ノ出席員ニ委任シ代理セシムルコトヲ得

舊第二十九條正會員ノ會費五十錢トアルヲ六十錢ニ准會員ノ會費三十錢トアルヲ三十五錢ト改正スルコト

日本鐵鋼協會記事

定款施行細則改正案

第七條ヲ左ノ通改ム

役員ノ改選ニ就テハ豫メ評議員會ニ於テ候補者ヲ推薦シ總會ノ日ヨリ少クモ二週間前ニ正會員名簿ト共ニ之ヲ正會員ニ配布シ參考ニ供スヘシ

第八條ヲ削除シ第九條ヲ第八條トシ

一、編輯委員ノ前ニ 一、常務委員ノ項ヲ加フ

第九條ニ常務委員ハ理事ノ職務ヲ補佐スルモノトスノ項ヲ加フ

第十五條ヲ改正シ

理事會ハ理事及常務委員ヲ以テ組織シ會長之ヲ主宰シ會務ヲ協議決定スト改ム

第十七條第十八條ハ新定款草案第二十八、二十九、三十條ト抵觸ニ付削除

第十九條ヲ第十七條トシ以下順次繰上ク

以上

當日出席者は左の諸氏なり。

野呂 景義 阪田 貞一 寺野 精一
鹽田 泰介 種子田 右八郎 島 安次郎
門野 重九郎 今泉 嘉一郎

◎編輯會

大正七年三月五日(火曜日)午後五時より本會假事務所に

於て編輯會を開き會誌第四年第三號の原稿を選定せり。

當日出席者は左の諸氏なり。

香 村 小 錄 井 上 克 己
室 井 嘉 治 馬 川 上 義 弘

◎入退會者

前號報告後入退會を承認せられたる會員左の如し。

入 會 者 (住所及職業)

北海道函館區臺場町六七	准會員	堤商會製鐵工場
北海道室蘭日本製鋼所技師	同	木 場 德 之
東京府巢鴨宮下町一八三〇	同	福 丸 治 介
北海道室蘭日本製鋼所員	同	今 野 新 一
神戸市兵庫水木通七ノ四川崎造船所員	同	原 田 永 佐
支那上海香港路第一號東亞通商株式會社内	同	

神戸市脇濱町一丁目神戸製鋼所員
神奈川縣川崎町日本鋼管株式會社技師

◎轉 居 (新住所左の如し)

東京市本郷區西片町一〇はノ十二	同	三 木 甚 市
臺灣新營庄鹽水港製糖拓植株式會社工務部	同	山 田 福 治
東京府豐多摩郡中澁谷六八二	正會員	三 橋 斗 機 雄
東京府豐多摩郡東大久保四六四		
山口縣都濃郡下松村笠戸造船所		
朝鮮黃海道兼二浦三菱製鐵所		
大阪市西區島屋町住友鑄鋼所		
兵庫縣武庫郡精道村芹屋字大樹八二一		
東京市麴町區丸ノ内三菱合資會社查業部		
朝鮮黃海道兼二浦三菱製鐵所社宅		

小河原藤吉	守 田 龍 生	作 間 鋼 太 郎	川 上 義 弘	野 上 熊 二	有 働 重 斌	山 田 長 太 郎	宮 崎 茂 三	前 田 誠 吾	木 村 林 次 郎
-------	---------	-----------	---------	---------	---------	-----------	---------	---------	-----------

神奈川縣川崎町堀ノ内三八二
東京市小石川區竹早町一二〇
大阪府三島郡吹田町西奥町六八三
神奈川縣川崎町在田島村日本鋼管會社々宅

石 原 政 治
前 田 一
根 岸 幸
伊 藤 信 太 郎

◎第三回總會

大正七年三月二十三日(土曜日)午後一時より本會新築事務所に於て第三回通常總會及臨時總會を開く當日は事務所開館式を兼て各學會の會長等を招待したるが來賓として機械學會幹事長工學博士田中富士太君造船協會々長工學博士寺野精一君來會せられたり右總會終了後工學博士今泉嘉一郎君工學博士島安次郎君の講演あり終つて午後六時より新橋驛樓上の東洋軒に於て懇親會を開きたり。